

researchmapの即時OA対応 改修について

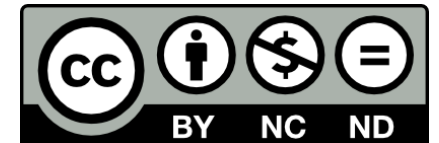
令和 7年 7月 16日



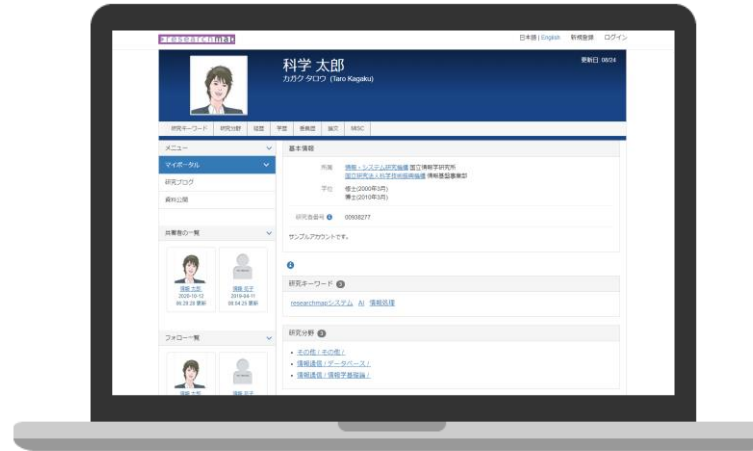
科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

情報基盤事業部 人材情報グループ



はじめに：researchmapとは



- ▶ 約38万人が登録する日本の研究者情報データベース
- ▶ 研究者の情報発信・コミュニケーションツール
- ▶ 研究者総覧作成時に登録情報を利用可能
- ▶ 政策立案等に資する分析基盤として活用可能

researchmapの登録対象者

- 日本国内で研究活動を行っている研究者
- 海外で研究活動を行っている日本人研究者
- 研究・教育活動で日本と関わりのある研究者
- 博士課程の学生
- 研究支援者

researchmapを利用するメリット



研究者

- 自身の手で多様な業績データを管理・公開できる
- 機関を異動しても業績データを利用し続けられる
- 研究費の申請、報告に業績データを利用できる（業績とりまとめ機能等）
- 外部データベースを活用し、研究業績データを簡単に入力できる
- 研究者用個人ページ「マイポータル」でブログ、コミュニティ等のSNS機能が活用できる



大学

- 転入、新規採用した研究者の業績をすぐに把握し、大学等の研究者総覧・業績管理システムに反映できる
- 研究者総覧・業績入力システムの開発・保守コストが削減できる
- さまざまな外部データベースと連携できる

►researchmap

[日本語](#) | [English](#) [新規登録](#) [ログイン](#)



更新日: 06/17

ホーム	受賞	経歴	論文	書籍等出版物	MISC	講演・口頭発表等	Works(作品等)	社会貢献活動	メディア報道	研究分野	研究キーワード
所属学協会	共同研究・競争的資金等の研究課題				学歴	委員歴	担当経験のある科目(授業)				

フォロー一覧

東京都出身。一橋大学法学部およびイリノイ大学数学科卒業、イリノイ大学5年一貫制大学院を経て、東京工業大学（現：東京科学大学）より博士（理学）を取得。専門は数理理論学等だが、人工知能や教育等、文理融合分野で幅広く活動をしている。具体的な研究成果としては、数値計算における最適化問題の解法に関する研究がある。

researchmapのマイポータル

researchmap

日本語 | English 新規登録 ログイン



新井 紀子

アライ ノリコ (Noriko Arai)

更新日: 06/17

[ホーム](#)
[受賞](#)
[経歴](#)
[論文](#)
[書籍等出版物](#)
[MISC](#)
[講演・口頭発表等](#)
[Works\(作品等\)](#)
[社会貢献活動](#)
[メディア報道](#)
[研究分野](#)
[研究キーワード](#)

[所属学協会](#)
[共同研究・競争的資金等の研究課題](#)
[学歴](#)
[委員歴](#)
[担当経験のある科目\(授業\)](#)

[メニュー](#)

- マイポータル
- 研究ブログ
- 資料公開
- アンケート
- 共著者の一覧
- フォロワー一覧

論文 89

表示件数 20件

[Misconception about Zero: How Difficult it is to Overcome](#)
Noriko Arai, Shingo Sugawara, Takuya Matsuzaki
The Proceedings of the 15th International Congress on Mathematical Education (ICME-15) 2024年7月 査読有り

著者

77

[Item Response Theory in Action: Developing a Diagnostic Test for Mathematical Definition Reading Skills](#)
Noriko Arai, Teiko Arai, Naoya Todo, Shingo Sugawara, Hidenao Iwane, Takuya Matsuzaki, Koken Ozaki
The Proceedings of the 15th International Congress on Mathematical Education (ICME-15) 2024年7月 査読有り

著者

50

[Towards Precision in Educational Testing: Automated Question Creation and Difficulty Assessment in CAT-CBT](#)

researchmapのマイポータル

研究課題 | 学歴 | 委員歴 | 担当経験のある科目(授業)

論文

査読有り | 筆頭著者 | **本文へのリンクあり**

2024年7月

Misconception about Zero: How Difficult it is to Overcome

The Proceedings of the 15th International Congress on Mathematical Education (ICME-15)

Noriko Arai , Shingo Sugawara , Takuya Matsuzaki

リンク情報

共同研究・競争的資金等の
研究課題[21世紀に求められるリテラシーの標準テストの研究と開発](#)共同研究・競争的資金等の
研究課題[テーラーメイド教育開発を支援するための学習者の読解認知特性診断テストの開発](#)

エクスポート

BibTeX

RIS

論文リストへ



本文URLや添付ファイルが
設定されていると「本文
へのリンクあり」が表示

研究者自身で本文ファ
イル等を掲載できる



所属機関に関わらず、
セルフアーカイブが可能
(退職教員、民間研究者
含む)

R7年度の改修では、
より詳細なOA対応を進めま
す

researchmap即時OA改修の概要

- 即時OA関係項目の追加
 - DOI、URLに対し「無償でアクセス可能」のチェックボックスと、「公開開始日」（エンバーゴ解禁日）を設定
 - DOIについてはランディング先の種別（出版社、リポジトリ、その他）を登録可能とする
- 根拠データ、研究データへの対応
 - 「論文」「MISC」に「関連情報URL」を設定し、根拠データ等、本文へのリンク以外のURLを明示的に登録可能とする
 - 業績種別「研究データ」の追加
- DOIをキーにした機能強化
 - DOIによる取り込み機能をJaLC、DataCiteに対応
 - OpenAlexデータを用いた無償アクセス可否、関連URLの自動登録機能の実装

1. 「論文」「MISC」入力画面

① 「検索するDOI」の対象をCrossrefのみからJalC、DataCiteにも拡充する。

② 上下に2つあるDOI欄とURL欄の下に「無償でアクセス可能」のチェックボックスを設定し、アクセス可否を設定できるようにする。

③ DOI欄にラジオボタン（出版社、リポジトリ、その他）を設定。上段のDOI欄は出版社を、下段のDOI欄はリポジトリを初期値とする。

※既に登録されているDOIには種別情報がないため、未登録とする

④ DOIとURLに「公開開始日」入力欄を設定。入力された場合は、公開日以降にリンク先へアクセスが可能になる機能を実装する。

① 検索するDOI

入力したDOIを外部システムから検索して取り込みます。DOIがわかれば論文情報を入力する手間が省けます。

☐ 外部システムからの取り込み

DOI

設定するDOIが出版社またはリポジトリのいずれにも該当しない場合、「その他」を選んでDOIを入力してください。

②

☐ 出版社版 ☐ リポジトリ版 ☐ その他

③

☒ 無償でアクセス可能

④ エンバーゴ（公開日）

年

月

日

☐ 出版社版 ☒ リポジトリ版 ☐ その他

☐ 無償でアクセス可能

エンバーゴ（公開日）

年

月

日

1. 「論文」「MISC」入力画面

⑤「URL」欄に即時OA関係項目（「無償でアクセス可能」「公開開始日」）を追加。

⑥「関連情報URL」を設定。論文ではなく、研究データなどの参照が可能なURLの入力欄とする。論文本体へのリンク情報でない旨の注意書きを付す。

※補足

画面上からは「URL」を2つしか登録できないが、ファイルインポート(JSON)、APIを利用すると複数入力可能

公開の有無

☒ 公開 ☐ 研究者のみに公開 ☐ 非公開

国際共著 ⓘ

☒ 指定なし ☐ している ☐ していない

URL

より詳しい情報の入力

☒ 無償でアクセス可能

⑤ エンバーゴ（公開日）

年

月

日

☒ 無償でアクセス可能

エンバーゴ（公開日）

年

月

日

関連情報URL

⑥

関連情報URLは、論文本体へのURLではなく、研究データ等への参照を記載してください

2. 「論文」「MISC」業績詳細画面

⑦ 業績表示画面で、「無償でアクセス可能」にチェックが入っている場合、「無償でアクセス可能」を表示する（現在は「無償でダウンロード可能」をチェックすると「本文へのリンクあり」が表示される）。

DOI、URLは「公開開始日」が入力されている場合、公開日後にリンクを表示し、それ以外は表示しない。ただし、「公開開始日」に入力されていない場合はリンクを表示する。

⑦' ランディング先の種別（出版社、リポジトリ等）をラベル表示することについて検討中。

論文 編集

公開 査読有り 無償アクセス可能 ⑦

2022年

開始ページ 321 終了ページ 330
記述言語 掲載種別 研究論文（国際会議プロシーディングス）

DOI

出版者・発行元

リンク情報

DOI	無償アクセス可	出版社版
DOI	無償アクセス可	
DBLP		
URL	無償アクセス可	
URL	無償アクセス可	出版社版

ID情報

⑦'

3. 業績検索画面

 業績検索

すべて

論文

書籍等出版物

講演・口頭発表等

受賞

共同研究・競争的資金等の研究課題

もっと...

タイトル

☐ 検索

☐ MISCを含める

誌名

出版者・発行元

出版年月

年

月

-

年

月

記述言語

掲載種別

査読・招待

☐ 査読有り ☐ 招待有り

DOI

ISSN

課題番号

⑧ ☐ 無償アクセス可のみ

無償アクセス可のうち、
現在アクセス可能な業績
に限定

- ⑧ 業績検索画面に検索対象を、無償でアクセス可能かつ現在アクセス可能な業績に限定するチェックボックスを表示。
チェックされている場合、「無償でアクセス可能」にチェック有、かつ「公開開始日」が現在日以前のものがヒットする。

4. 業績種別「研究データ」の増設



⑨ 業績情報に「論文」「MISC」等に加え、「研究データ」を追加する。

データ項目としては以下を検討中：

DOI、即時OA関係項目、タイトル、日付（From-To）、データ種別、データサイズ、フォーマット、内容、URL、公開の有無（公開範囲の設定） 等

また、「論文」と同様にDOIでの取り込み機能を実装する。
DataCite、JaLC、Crossrefからの取り込みを可能とする。

5. 外部システムとの連携

⑩ OpenAlexからDOIをキーに、「無償でアクセス可能」のチェック、関連のURLを自動的に追加する機能を設ける。

【再掲】

①「論文」「MISC」「研究データ」について、JalCおよびDataCiteからも、DOIをキーに業績情報を取り込めるようにする。
※現在はCrossrefのみ対象だが、他の研究者が入力した業績のDOIをキーに他のRAの書誌情報を取り込む場合がある

① 検索するDOI

入力したDOIを外部システムから検索して取り込みます。DOIがわかれば論文情報を入力する手間が省けます。

☐ 外部システムからの取り込み

DOI

設定するDOIが出版社またはリポジトリのいずれにも該当しない場合、「その他を選んでDOIを入力してください。

☐ 出版社版 ☐ リポジトリ版 ☐ その他

⑩ ☒ 無償でアクセス可能

エンバーゴ（公開日）

年

月

日

☐ 出版社版 ☒ リポジトリ版 ☐ その他

☐ 無償でアクセス可能

エンバーゴ（公開日）

年

月

日

6. その他

- 各種APIに「公開開始日」の項目を追加し、データ取得および更新を可能とする。APIによる「無償でアクセス可能」フラグ、URL、公開開始日の更新は、研究者による情報補完か、OpenAlexのバルクデータからのOA情報反映がされている場合、スキップする
- 各種APIにDOIランディング先種別の項目を追加し、データ入出力を可能にする
- 各種APIに項目「関連情報URL」を追加し、データ入出力を可能にする
- 各種APIに業績「研究データ」を追加する
- 業績情報「その他」にある「添付種別」から「実験データ」、「発表資料」を削除する
- 業績情報「その他」に登録されている情報について、「添付種別」が「実験データ」または「発表資料」に区分されているデータについて、業績情報「研究データ」に移行する
※移行対象データについては検討中
- OA化促進として、非OAとして業績を登録しようとした際に、OA化するための案内文言を画面に表示する
(※詳細仕様未確定)

まとめ

- 現在は、DOI、URL単位で「無償でダウンロード可能」かを設定する機能、及びresearchmap上へのファイル添付・公開機能を提供している
- **即時OA関係項目**として、「無償でアクセス可能」フラグ、「公開開始日」、DOIのランディング先種別を設定する
- **根拠データ、研究データへの対応**として、「関連情報URL」項目の設定、業績種別「研究データ」の増設を行う
- **DOIをキーにした機能強化**として、取り込み対象のRA拡充、OpenAlexデータを用いたOA関係情報の自動登録機能実装を行う

※R7年度中に開発を行い、R8年度にリリースする予定です